

## 2022年度事業計画書

1. 松竹大谷図書館の維持運営に関する事業  
一般公開を行う演劇・映画の専門図書館として以下の事業を行う。
  - (1)資料の収集  
製作会社、劇団、各関連団体、出版社等に協力を願い、演劇・映画に関する書籍、雑誌、台本、プログラム、ポスター、写真などを収集する。
  - (2)資料の整理と保存  
収集した資料は適切に分類、整理、保存し、検索により利用可能な状態にする。
  - (3)一般公開  
閲覧室を一般に公開し、資料を閲覧に供する。(無料)  
開館時間:10:00~17:00 ※感染防止対策が必要な場合は16時閉館  
休館日:土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、年末年始、春期・夏期休館期間、5月1日、11月22日
  - (4)レファレンスサービス  
利用者の演劇・映画に関する参考文献調査の手助けを行う。
  - (5)複写サービス  
著作権法の範囲内で資料の複写サービスを行い、利用者の便宜をはかる。
  - (6)閲覧室内資料展示  
閲覧室内で所蔵資料の展示を行い、所蔵資料を紹介する。
  - (7)演劇上演記録の作成  
資料整理の参考とするため、またレファレンス・ツールとして演劇の上演記録を作成する。
  - (8)松竹大谷図書館賞  
優秀な新作歌舞伎及び新作歌舞伎舞踊劇の脚本に贈る「大谷竹次郎賞」の副賞として「松竹大谷図書館賞」(記念レリーフ)を贈呈する。
  - (9)広報
    - ①ホームページの維持管理を行う。
    - ②毎月「松竹大谷図書館ニューズレター」を発行し、新着資料の案内等を行う。  
「松竹大谷図書館ニューズレター」はホームページに掲載する。
    - ③Facebook ページの維持管理を行う。
2. 公益事業の推進に資するための所蔵資料等に関連する事業
  - (1)所蔵資料を展示、出版、放送等に提供し対価を得る事業を行う。
  - (2)所蔵資料を駆使した専門的な原稿の依頼がある場合は可能な限り対応し、対価を得る事業を行う。
3. その他目的を達成するために必要な事業
4. 資金調達及び設備投資の見込みについて  
当期中における借入れの予定及び重要な設備投資の予定はない。

**2022年度収支予算書内訳表**  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計	備考
	図書館の維持運営	所蔵資料関連事業				
I 一般正味財産増減の部						
1 1 経常増減の部						
2 (1) 経常収益						
3 ①基本財産運用益						
4 基本財産受取利息	0	0	200		200	
5 基本財産受取配当金	0	0	0		0	
6 基本財産運用益	1,200,000	0	0		1,200,000	
7 ②特定資産運用益						
8 特定資産受取利息	2,100	0	0		2,100	
9 ③事業収益						
10 図書館運営事業収益	900,000	2,000,000	0		2,900,000	
11 ④受取補助金等						
12 受取助成金	100,000	0	0		100,000	
13 ⑤受取寄付金						
14 受取寄付金	41,690,000	0	2,050,000		43,740,000	
15 ⑥雑収益						
16 受取利息	100	0	0		100	
17 雑収益	0	20,000	0		20,000	
18 経常収益計	43,892,200	2,020,000	2,050,200		47,962,400	
19 (2) 経常費用						
20 ①事業費						
21 給料手当	29,685,097	149,925			29,835,022	
22 退職給付費用	106,920	540			107,460	
23 法定福利費	4,693,214	23,703			4,716,917	
24 福利厚生費	141,436	714			142,150	
25 図書購入費	300,000	0			300,000	
26 松竹大谷図書館賞	100,000	0			100,000	
27 旅費交通費	740,308	3,436			743,744	
28 通信運搬費	285,302	1,239			286,541	
29 減価償却費	169,251	0			169,251	
30 消耗什器備品費	118,800	600			119,400	
31 消耗品費	308,400	800			309,200	
32 修繕費	1,441,000	0			1,441,000	
33 印刷製本費	99,650	175			99,825	
34 光熱水料費	368,610	1,195			369,805	
35 研修費	50,000	0			50,000	
36 修復・デジタル化費	6,000,000	0			6,000,000	
37 システム保守費	1,249,890	505			1,250,395	
38 支払手数料	19,900	50			19,950	
39 雑費	4,000	0			4,000	
40 事業費計	45,881,778	182,882			46,064,660	
41 ②管理費						
42 給料手当			149,925		149,925	
43 退職給付費用			540		540	
44 法定福利費			23,703		23,703	
45 福利厚生費			714		714	
46 会議費			50,000		50,000	
47 旅費交通費			5,436		5,436	
48 通信運搬費			56,239		56,239	
49 消耗什器備品費			600		600	
50 消耗品費			10,800		10,800	
51 印刷製本費			85,175		85,175	
52 光熱水料費			1,195		1,195	
53 支払報酬			660,000		660,000	
54 システム保守費			33,505		33,505	
55 支払手数料			860,050		860,050	
56 雑費			35,200		35,200	
57 管理費計			1,973,082		1,973,082	
58 経常費用計	45,881,778	182,882	1,973,082		48,037,742	
59 評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,989,578	1,837,118	77,118		▲ 75,342	
60 基本財産評価損益等						
61 当期経常増減額	▲ 1,989,578	1,837,118	77,118	0	▲ 75,342	
62 2 経常外増減の部						
63 (1) 経常外収益						
64 雑収益						
65 経常外収益計	0	0	0		0	
66 (2) 経常外費用						
67 経常外費用計	0	0	0		0	
68 当期経常外増減額	0	0	0		0	
69 他会計振替額	1,829,285	▲ 1,829,285	0		0	
70 税引前当期一般正味財産増減額	▲ 160,293	7,833	77,118		▲ 75,342	
71 法人税、住民税及び事業税	0	0	70,000		70,000	
72 当期一般正味財産増減額	▲ 160,293	7,833	7,118		▲ 145,342	
73 一般正味財産期首残高	1,174,178,261	277,116	35,761,468		1,210,216,845	
74 一般正味財産期末残高	1,174,017,968	284,949	35,768,586		1,210,071,503	
75 II 指定正味財産増減の部						
76 所蔵資料受贈益	1,000	0	0		1,000	
77 当期指定正味財産増減額	1,000	0	0		1,000	
78 指定正味財産期首残高	99,000	0	0		99,000	
79 指定正味財産期末残高	100,000	0	0		100,000	
80 III 正味財産期末残高	1,174,117,968	284,949	35,768,586		1,210,171,503	
81						